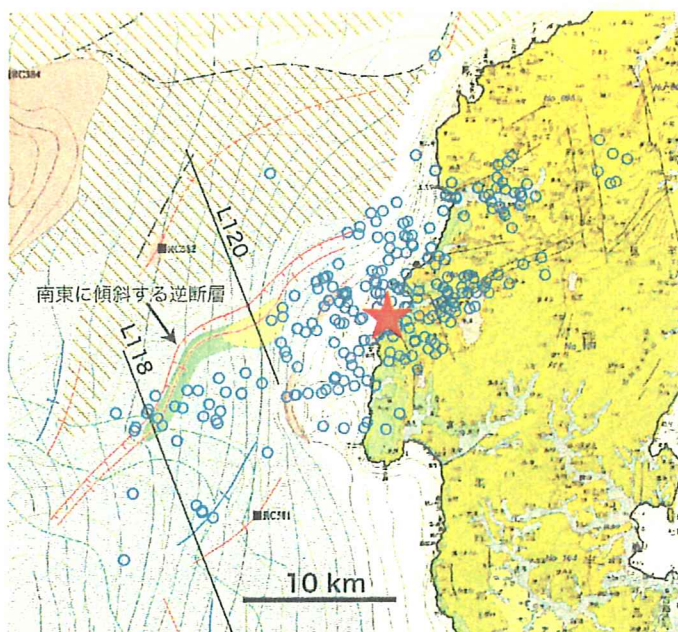


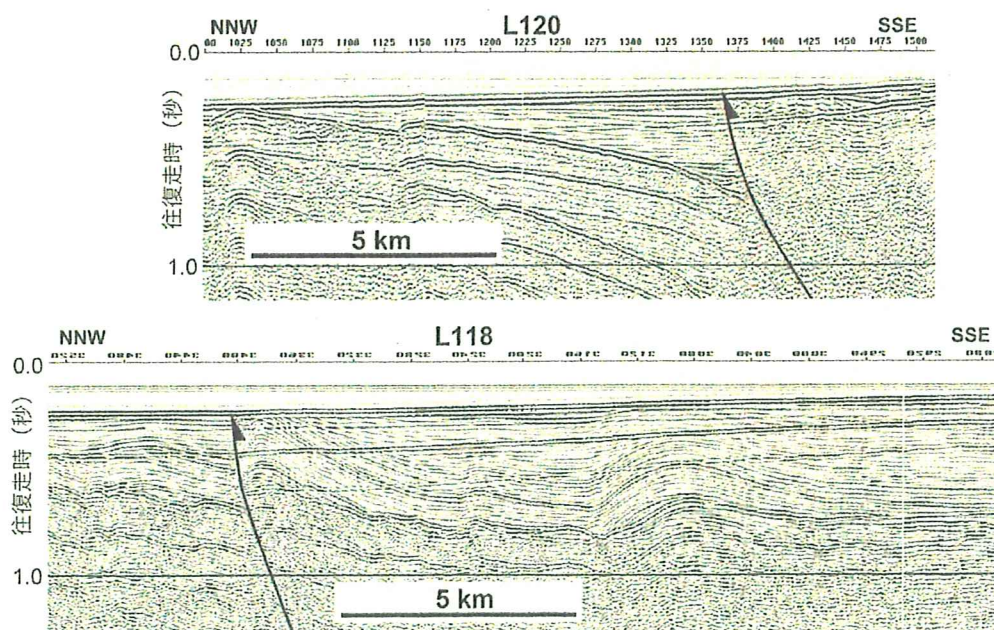
1. 能登半島とその周辺海域のテクトニクス

1. 震源付近の海底地質構造

2007年能登半島地震の震央の北から西側の海底には南東に傾斜し、北東-南西方向の逆断層が発達している（第1図）。この断層は鮮新世以降の地層に変形を与えており、第四紀に活動してきたことは確実である（第2図）。余震はこの断層の南東側に分布し、南東に向かって深くなることから、海底逆断層の形状によく一致する。



第1図 能登半島北西部とその周辺海域の地質図及び能登半島地震の一元化震源データによる本震（星印）と余震分布（青丸）



第2図 逆断層を横断する反射断面。位置は第1図参照